

特別講演

第1日目 (10月28日) 13:30 ~ 14:30

第1会場 (大ホール)

座長 杉山 聡 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル：スピークアップとリーダーシップ」

▶中島 和江 (大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部)

報告

報告 / ドクターヘリレジストリー 中間報告

第1日目 (10月28日) 11:00 ~ 12:00

第1会場 (大ホール)

座長 猪口 貞樹 (東海大学医学部付属病院 救命救急センター)

高山 隼人 (長崎大学病院地域医療支援センター)

R-1 ACS グループ担当

R-2 脳梗塞グループ担当

R-3 脳内出血グループ担当

R-4 くも膜下出血グループ担当

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1

共催：株式会社ウェザーニューズ

第1日目 (10月28日) 12:15 ~ 13:15

第2会場 (活動室1・2)

座長 村中 里衣 (株式会社ウェザーニューズ 航空気象コンテンツチーム)

LS-1 ドクターヘリ運航動態管理

今後の発展と他機関、無人航空機を含めた気象・災害情報連携について

▶高森 美枝 (株式会社ウェザーニューズ 航空気象コンテンツサービス グループリーダー 気象予報士)

ランチョンセミナー 2

共催：株式会社ソリトンシステムズ

第1日目 (10月28日) 12:15 ~ 13:15

第3会場 (会議室1・2)

座長 百武 真也 (株式会社ソリトンシステムズ Mobile Broadcast 事業部)

LS-2 映像伝送システムによる救急医療情報の可視化について

▶其田 一 (市立釧路総合病院 副院長 救命救急センター長)

ランチョンセミナー 3

共催：日本光電北関東株式会社

第1日目 (10月28日) 12:15 ~ 13:15

第4会場 (第1~3会議室)

座長 中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)

LS-3 ヘリコプターによる救急患者の搬送—中都市における有用性について—

▶上田 守三 (富士中央ケアセンター)

市民講座

市民講座／夢のかけはし

第2日目(10月29日) 14:00～16:00

第1会場(大ホール)

シアターラーニング

シアターラーニング／体験する新たな形の「人財」育成

第2日目(10月29日) 9:00～12:00

第5会場(多目的ホール)

座長 坂田久美子(愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

講師 藤田 将範(音楽座ミュージカル)

シンポジウム

シンポジウム I／航空機内ドクターコール～解決すべき問題を考える～

第1日目(10月28日) 15:30～17:30

第2会場(活動室1・2)

座長 北村 伸哉(国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)

西川 渉(救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net))

SY1-1 救急医による国際線機内ドクターコール応需の経験

▶須崎紳一郎(武蔵野赤十字病院 救命救急センター)

SY1-2 定期旅客機内のドクターコールで利用可能な救急医薬品と医療器具

▶水野 光規(あいち小児保健医療総合センター 総合診療科部 救急科)

SY1-3 客室乗務員のファーストエイド教育と機内医療体制について

▶飯塚 千絵(日本航空株式会社 客室教育訓練部 安全訓練グループ)

SY1-4 ANA 機内における医療対応

▶長田 美紀(全日本空輸株式会社 CS&プロダクト・サービス室CS推進部)

SY1-5 医師資格証と航空機内のドクターコール

▶水谷 渉(日本医師会総合政策研究機構)

SY1-6 航空機内のドクターコール どのように対応すべきか

▶田中 秀治(国土舘大学大学院 救急救命システム研究科)

SY1-7 『応急手当援護者保護法』制定の必要性

▶橋本雄太郎(杏林大学総合政策学部/大学院国際協力研究科)

シンポジウムⅡ／熊本地震における災害医療と航空医療の連携

第2日目 (10月29日) 9:00～11:00

第1会場 (大ホール)

座長 山下 典雄 (久留米大学医学部救急医学講座)
早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

SY2-1 熊本地震対応に係る消防・防災ヘリの活動について

▶ 藤山 修一 (熊本県防災消防航空隊)

SY2-2 熊本地震と自衛隊の活動

▶ 松下芳太郎 (陸上自衛隊衛生学校)

SY2-3 海上保安庁における救助・救急体制

▶ 松尾 秀昭 (海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官)

SY2-4 警察航空の概要

▶ 小森 武彦 (警察庁生活安全局地域課 課長補佐)

SY2-5 熊本地震におけるドクターヘリ運行管理室の連絡調整作業について

▶ 山家 純一 (熊本赤十字病院 救急科)

SY2-6 平成28年熊本地震における超急性期空路調整と九州の課題

▶ 佐藤 友子 (佐賀県医療センター好生館 救命救急センター 救急科)

SY2-7 平成28年熊本地震におけるドクターヘリ活動の実績と今後の課題

▶ 町田 浩志 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

SY2-8 災害時のドクターヘリの運用方法確立に向けて

▶ 早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

コメント

▶ 篠田 伸夫 (認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net))

シンポジウムⅢ／ドクターヘリが深める地域連携

第2日目 (10月29日) 9:00～11:00

第2会場 (活動室1・2)

座長 今 明秀 (八戸市立市民病院 救命救急センター)
高山 隼人 (長崎大学病院地域医療支援センター)

SY3-1 ドクターヘリの地域との関わり―転院搬送事例の分析から

▶ 山田 裕彦 (岩手医科大学 救急・災害医学講座 救急医学分野)

SY3-2 三重県ドクターヘリと地域連携―志摩地域緊急外来搬送の検討

▶ 藤井 幸治 (伊勢赤十字病院 救命救急センター)

SY3-3 広域運航圏の道北ドクヘリによる地域医療連携への取り組み

▶ 住田 臣造 (旭川赤十字病院救命救急センター 麻酔救急集中治療科)

SY3-4 秩父地域でのヘリ搬送の必要性和、ヘリポート併設病院の役割

▶ 守 麻理子 (秩父病院 外科)

SY3-5 ドクターヘリ基地病院を中心に据えた地域救急医療への取り組み

▶ 小林 誠人 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

SY3-6 富山県における地域に根ざしたドクターヘリの運用

▶ 大鋸 立邦 (富山県立中央病院 救命救急センター)

SY3-7 地域医療経験のある医師によるドクターヘリ出動と地域連携

▶ 濱館 香葉 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

パネルディスカッション

パネルディスカッションⅠ 救急自動通報システム（D-Call Net）が起動する航空医療の近未来

第1日目（10月28日） 9:00～11:00

第1会場（大ホール）

座長 益子 邦洋（医療法人社団 永生会 南多摩病院）
田勢長一郎（福島県立医科大学附属病院 災害医療部）

PD1-1 救急自動通報システム（D-Call Net）について

▶石川 博敏（認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net）理事）

PD1-2 D-Call Net アルゴリズムの開発

▶西本 哲也（日本大学 工学部）

PD1-3 救急自動通報システム（D-Call Net）試行運用の実事例と全国展開への展望

▶本村 友一（日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター）

PD1-4 近赤外分光センサを用いたウェアラブル・デバイスによる、交通事故傷病者の予後改善の試み

▶間藤 卓（自治医科大学 救急医学講座／埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター）

PD1-5 消防指令課から見た D-Call Net 運用の課題

▶黒沢 敬三（秩父消防本部 警防課）

PD1-6 コールセンターにおける D-Call Net 対応状況と今後の展望

▶菖蒲 正和（株式会社日本緊急通報サービス）

指定発言 自動事故通報システムに関する海外の動向

▶久保田秀暢（国土交通省自動車局技術政策課国際業務室）

パネルディスカッションⅡ 救急活動の救援者に関わるストレスマネジメント

第1日目（10月28日） 15:30～17:30

第1会場（大ホール）

座長 嶋津 岳士（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
藤尾 政子（川崎医科大学附属病院 高度救命救急センター）

PD2-1 基調講演：救急活動の救援者に関わるストレスマネジメント

▶松井 豊（筑波大学人間系）

PD2-2 東京消防庁における惨事ストレス対策について

▶亀山以知子（東京消防庁 人事部厚生課健康管理係）

PD2-3 企業での産業医活動における、社員向けのストレスマネジメントの実際

▶柿沼 充（MSD 株式会社 人事部門健康管理センター）

PD2-4 病院前救急診療における当院スタッフのストレス評価

▶若原 聖徳（済生会滋賀県病院 救命救急センター）

PD2-5 救急外来看護師のドクターヘリ患者受け入れ時に抱く思い

▶太田 純子（新潟大学歯学総合病院 高次救命災害治療センター）

コメント

▶松井 豊（筑波大学人間系）

パネルディスカッションⅢ／ITからドローンまで～最新テクノロジーと航空医療～

第2日目 (10月29日) 11:00～13:00

第1会場 (大ホール)

座長 小林 啓二 (宇宙航空研究開発機構 航空技術部門)
小倉 真治 (岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学)

PD3-1 ドローンを活用したコミュニケーション

▶船津 宏樹 (株式会社ブイキュープロボティクス ジャパン)

PD3-2 固定翼型小型無人機を活用した上空からの映像伝送と災害時通信確保

▶三浦 龍 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター)

PD3-3 準天頂衛星システムの概要と航空医療分野への適用可能性について

▶村井 善幸 (日本電気株式会社 準天頂衛星利用推進室)

PD3-4 離島・僻地における UAV 活用の展望

▶服部 淳一 (鹿児島県立大島病院 救命救急センター 救急科)

PD3-5 位置動態監視システムの導入と活用法の考察

▶八木 正晴 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院)

PD3-6 災害救援航空機用運航管理システムの研究開発 (ヘリ・災害情報)

▶小林 啓二 (宇宙航空研究開発機構 航空技術部門)

PD3-7 ドクターヘリ通信センターの統合に関する考察

▶渡邊 紀子 (中日本航空株式会社 運航管理室 EMS 課)

パネルディスカッションⅣ／ドクターヘリの治療戦略～現場処置の限界と適応～

第2日目 (10月29日) 11:00～13:00

第2会場 (活動室1・2)

座長 滝口 雅博 (公益財団法人青森県総合健診センター)
荻野 隆光 (川崎医科大学 救急医学)

PD4-1 オリンピック開催場所とサイクルスポーツに関するドクターヘリの活用

▶大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

PD4-2 プレホスピタルでの重症頭部外傷に対するモニタリングの効果

▶本多ゆみえ (東海大学医学部救命救急医学)

PD4-3 resuscitative field thoracotomy の限界を超えるには

▶浜上 知宏 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

PD4-4 ドクターヘリ搬送中に有効な CPR は可能か？

▶前山 博輝 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

PD4-5 離島発症の急性期脳梗塞に対するヘリ搬送を用いた治療戦略と課題

▶日宇 宏之 (独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 救急科)

PD4-6 血栓回収と脳梗塞診療体制の再構築

▶中間 哲郎 (鹿児島市立病院)

PD4-7 心筋梗塞におけるドクターヘリ搬送の有用性

▶岩崎 安博 (和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)

シンポジウム関連

シンポジウム関連 1 / 熊本地震における災害医療と航空医療の連携

第2日目 (10月29日) 11:00 ~ 12:00

第3会場 (会議室1・2)

座長 中川 隆 (愛知医科大学 災害医療研究センター)
笠岡 俊志 (熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部)

SYR1-1 熊本地震におけるドクターヘリ運用のコントロール

▶加藤 浩治 (学校法人ヒラタ学園航空事業本部)

SYR1-2 熊本地震における熊本県ドクターヘリの初動活動

▶田代 尊久 (熊本赤十字病院 救急科)

SYR1-3 熊本地震における徳島県ドクターヘリによる支援活動

▶三村 誠二 (徳島県立中央病院 救急科)

SYR1-4 熊本地震におけるドクターヘリ本部の立ち上げの記録

▶大塚 尚実 (熊本赤十字病院 麻酔科)

SYR1-5 熊本地震においてドクターヘリの運航調整を行い見えてきた課題

▶山本 瑞樹 (朝日航洋 東日本航空支社 運航部 運航管理グループ)

SYR1-6 熊本地震活動報告本震直後の熊本県ドクターヘリ現場活動の実際

▶橋本菜穂美 (熊本赤十字病院 救急1階病棟)

シンポジウム関連 2 / ドクターヘリが深める地域連携

第2日目 (10月29日) 12:00 ~ 12:50

第3会場 (会議室1・2)

座長 小野 一之 (獨協医科大学 救急医学講座)
加藤 正哉 (和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座)

SYR2-1 緊急外来搬送には地域連携が不可欠である

▶奈良 理 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

SYR2-2 急性期脳卒中における地域連携の重要性

▶越後 整 (済生会滋賀県病院 救急集中治療科)

SYR2-3 道南ドクターヘリで搬送した道南地区初の小児痙攣重積患者の一例

▶若林 知宏 (市立函館病院 小児科)

SYR2-4 持続可能な事業と地域医療連携～ドクターヘリの費用対効果から～

▶土谷 飛鳥 (独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救急科)

SYR2-5 ドクターヘリ運用の官民連携～日本唯一のドクターヘリ補完ヘリ

▶富岡 譲二 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 救急科)

第1日目 (10月28日 (金))

第1会場 (大ホール)

8:50~9:00

開会式

9:00~11:00

パネルディスカッション I / 救急自動通報システム (D-Call Net) が起動する航空医療の近未来

座長 益子 邦洋 (医療法人社団 永生会 南多摩病院)
田勢長一郎 (福島県立医科大学附属病院 災害医療部)

PD1-1 救急自動通報システム (D-Call Net) について

▶石川 博敏 (認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net) 理事)

PD1-2 D-Call Net アルゴリズムの開発

▶西本 哲也 (日本大学 工学部)

PD1-3 救急自動通報システム (D-Call Net) 試行運用の実事例と全国展開への展望

▶本村 友一 (日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター)

PD1-4 近赤外分光センサを用いたウェアラブル・デバイスによる、交通事故傷病者の予後改善の試み

▶間藤 卓 (自治医科大学 救急医学講座/埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター)

PD1-5 消防指令課から見た D-Call Net 運用の課題

▶黒沢 敬三 (秩父消防本部 警防課)

PD1-6 コールセンターにおける D-Call Net 対応状況と今後の展望

▶菖蒲 正和 (株式会社日本緊急通報サービス)

指定発言 自動事故通報システムに関する海外の動向

▶久保田秀暢 (国土交通省自動車局技術政策課国際業務室)

11:00~12:00

報告 / ドクターヘリレジストリー 中間報告

座長 猪口 貞樹 (東海大学医学部付属病院 救命救急センター)
高山 隼人 (長崎大学病院地域医療支援センター)

R-1 ACS グループ担当

R-2 脳梗塞グループ担当

R-3 脳内出血グループ担当

R-4 くも膜下出血グループ担当

第1日目 (10月28日(金))

第1会場 (大ホール)

13:30～14:30

特別講演

座長 杉山 聡 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル:スピークアップとリーダーシップ」

▶中島 和江 (大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部)

14:30～15:15

総会

15:30～17:30

パネルディスカッションⅡ / 救急活動の救援者に関わるストレスマネジメント

座長 嶋津 岳士 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

藤尾 政子 (川崎医科大学附属病院 高度救命救急センター)

PD2-1 基調講演: 救急活動の救援者に関わるストレスマネジメント

▶松井 豊 (筑波大学人間系)

PD2-2 東京消防庁における惨事ストレス対策について

▶亀山以知子 (東京消防庁 人事部厚生課健康管理係)

PD2-3 企業での産業医活動における、社員向けのストレスマネジメントの実際

▶柿沼 充 (MSD 株式会社 人事部門健康管理センター)

PD2-4 病院前救急診療における当院スタッフのストレス評価

▶若原 聖徳 (済生会滋賀県病院 救命救急センター)

PD2-5 救急外来看護師のドクターヘリ患者受け入れ時に抱く思い

▶太田 純子 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

コメント ▶松井 豊 (筑波大学人間系)

第1日目 (10月28日 (金))

第2会場 (活動室1・2)

9:00～9:50

一般口演1 / 教育1

座長 山崎 早苗 (東海大学医学部付属病院 集中治療室)
野澤 陽子 (順天堂大学医学部附属静岡病院 3E救命救急センター)

- 01-1 フライトナースに対するOJT前シミュレーションの取り組み
▶佐藤 雄樹 (徳島県立中央病院)
- 01-2 A病院フライトナースのキャリア開発に向けた取り組み
▶新井 雅子 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
- 01-3 当院フライトナース教育の標準化に向けた基礎調査
▶森塚 倫也 (独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター)
- 01-4 愛知県ドクターヘリにおける学習ソフトの開発と活用
▶坂田久美子 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)
- 01-5 フライトナースの活動評価と今後の課題
▶中野 英代 (佐賀大学医学部附属病院)

9:50～10:50

一般口演2 / 教育2

座長 川谷 陽子 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)
須田 高之 (水戸済生会総合病院 救命救急センター)

- 02-1 当基地病院のフライトドクター養成までの取り組みと課題
▶石川 浩平 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
- 02-2 海外航空医療コースAHPCを受講して
▶大村 健史 (徳島県立中央病院 救急科)
- 02-3 フライトナースに必要なリーダーシップ
▶大瀧 友紀 (聖隷三方原病院)
- 02-4 フライトナース志願者減少の要因分析 救急看護師の認識調査から
▶松崎 瞳 (公立大学法人福島県立医科大学附属病院 救命救急センター)
- 02-5 新生児搬送に対するフライトナースの不安の調査
▶永田千代美 (鹿児島市立病院 救命救急センター)
- 02-6 当院におけるフライトナースのストレス調査
▶山田 和美 (国保直営総合病院 君津中央病院)

10:50～11:50

一般口演3 / 安全・安全管理

座長 奥寺 敬 (国立大学法人 富山大学医学部 救急・災害医学講座)
小倉 憲一 (富山県立中央病院 救命救急センター部)

- 03-1 スイスに学ぶ救急ヘリの安全運航システム
▶萩野 隆光 (川崎医科大学 救急医学)
- 03-2 ヨーロッパ主要国に見る救急飛行の安全策
▶西川 渉 (救急ヘリ病院ネットワーク)
- 03-3 ドクターヘリにおけるブリーフィングの重要性について
▶藤尾 政子 (川崎医科大学附属病院)
- 03-4 重複要請に対するタッチアンドゴーについて
▶村上 寧 (朝日航洋株式会社 EMSグループ)
- 03-5 救急車載用ストレッチャー操作の安全確保への取り組み
▶植地 静香 (国立病院機構水戸医療センター 救命救急センター)
- 03-6 ドクターヘリの離陸後キャンセルに関する一考
▶金丸 勝弘 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 1

共催：株式会社ウェザーニューズ

座長 村中 里衣 (株式会社ウェザーニューズ 航空気象コンテンツチーム)

- LS-1 ドクターヘリ運航動態管理
今後の発展と他機関、無人航空機を含めた気象・災害情報連携について
▶高森 美枝 (株式会社ウェザーニューズ 航空気象コンテンツサービス グループリーダー 気象予報士)

15:30 ~ 17:30

シンポジウム I / 航空機内ドクターコール～解決すべき問題を考える～

座長 北村 伸哉 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
西川 渉 (救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net))

- SY1-1 救急医による国際線機内ドクターコール応需の経験
▶須崎紳一郎 (武蔵野赤十字病院 救命救急センター)
- SY1-2 定期旅客機内のドクターコールで利用可能な救急医薬品と医療器具
▶水野 光規 (あいち小児保健医療総合センター 総合診療科部 救急科)
- SY1-3 客室乗務員のファーストエイド教育と機内医療体制について
▶飯塚 千絵 (日本航空株式会社 客室教育訓練部 安全訓練グループ)
- SY1-4 ANA 機内における医療対応
▶長田 美紀 (全日本空輸株式会社 CS & プロダクト・サービス室 CS推進部)
- SY1-5 医師資格証と航空機内のドクターコール
▶水谷 渉 (日本医師会総合政策研究機構)
- SY1-6 航空機内のドクターコール どのように対応すべきか
▶田中 秀治 (国士舘大学大学院 救急救命システム研究科)
- SY1-7 『応急手当援護者保護法』制定の必要性
▶橋本雄太郎 (杏林大学総合政策学部/大学院国際協力研究科)

第1日目 (10月28日 (金))

第3会場 (会議室1・2)

9:00～9:50

一般口演4 / 疾患：小児、産科

座長 前田 礼子 (鹿児島市立病院 救命救急センター)
佐藤 友子 (佐賀県医療センター好生館 救命救急センター)

04-1 災害時のドクターヘリを用いた周産期搬送の課題

▶平川 英司 (鹿児島市立病院 総合周産期母子医療センター 新生児内科)

04-2 重症小児患者の京滋ドクターヘリによる緊急施設間搬送訓練

▶野澤 正寛 (済生会滋賀県病院 救命救急センター 救急集中治療科・小児救急部門)

04-3 ドクターヘリによる重症小児患者搬送時のフライトナースの役割

▶宮下 知記 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

04-4 ドクターヘリによる新生児搬送に求められるフライトナースの役割

▶江津 篤 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

04-5 安全な新生児搬送を行うための京滋ドクターヘリの取り組みと成果

▶北川 篤史 (済生会滋賀県病院 救命救急センター 看護師)

9:50～10:40

一般口演5 / 連携：多機関、多職種、地域1

座長 岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 救命救急センター)
中川 雄公 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

05-1 脳卒中専門医による早期医療介入の実現に向けて—第一報—

▶説田 守道 (伊勢赤十字病院 救命救急センター)

05-2 ドクターヘリにおける現場位置情報共有～早期医療介入のために～

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

05-3 京滋ドクターヘリの病院支援型活動について—有効事案の振り返り—

▶野矢 忠男 (済生会滋賀県病院 救命救急センター 看護師)

05-4 三重県で二次ランデブー方式合流を更に活用するためには

▶榊山 亮 (中日本航空株式会社運航管理室運航管理課)

05-5 ゴルフ場での「死亡ゼロ」を目指して—場内RP設定とキーワード化—

▶木下 大輔 (山梨県立中央病院 救命救急センター)

10:40~11:30

一般口演6 / 連携：多機関、多職種、地域2

座長 安田 貢 ((独) 国立病院機構水戸医療センター 救命救急センター)
奈良 理 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

06-1 道南ドクターヘリ“フライトナース部会”の設立について

▶河瀬 亨哉 (市立函館病院看護局)

06-2 ドクターヘリ要請はなかったが、要請基準を満たした事案の検討

▶川島 如仙 (市立釧路総合病院 麻酔科救急科)

06-3 消防職員を対象に実施したドクターヘリ同乗実習の効果

▶林 真紀 (水戸済生会総合病院 救命救急センター)

06-4 茨城県ドクターヘリ覚知要請における消防指令員の意識と役割

▶福井大治郎 (水戸済生会総合病院 救命救急センター)

06-5 高知県ドクターヘリ要請時情報内容の検討

▶石原 潤子 (高知医療センター 救命救急センター)

12:15~13:15

ランチョンセミナー2

共催：株式会社ソリトンシステムズ

座長 百武 真也 (株式会社ソリトンシステムズ Mobile Broadcast 事業部)

LS-2 映像伝送システムによる救急医療情報の可視化について

▶其田 一 (市立釧路総合病院 副院長 救命救急センター長)

15:30~16:20

一般口演7 / 連携：多機関、多職種、地域3

座長 岩下 具美 (長野赤十字病院 救命救急センター 信州ドクターヘリ松本)
金丸 勝弘 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)

07-1 多発外傷傷病者をヘリコプターで搬送した症例

▶川崎 武久 (海上保安庁 特殊救難基地 特殊救難隊 救急救命士)

07-2 複数傷病者事案における鹿児島県補完ヘリ導入効果の検討

▶吉原 秀明 (鹿児島市立病院 救急科)

07-3 ヘリ2機連携体制は重複要請時の不応需を少なくできる

▶奥本 克己 (熊本赤十字病院救急科)

07-4 北東北3県の100km圏ドクターヘリ広域連携の効果と課題について

▶大間々真一 (岩手医科大学 医学部 救急災害医学講座 救急医学分野)

07-5 青森県ドクターヘリ2機同時出動事例の検討

▶齋藤 兄治 (青森県立中央病院 救命救急センター)

第1日目 (10月28日(金))

第3会場 (会議室1・2)

16:20～17:00

一般口演8 / 疾患：内因性

座長 三村 誠二 (徳島県立中央病院 救命救急センター)

岡田 邦彦 (長野県厚生農業協同組合連合会 / 佐久総合病院佐久医療センター 救命救急センター)

08-1 ドクターヘリ搬送した急性大動脈解離に対する考察

▶ 菊池 仁 (獨協医科大学病院 救命救急センター)

08-2 ドクターヘリが専門医不在地域の脳血管障害治療に貢献する

▶ 濱館 香葉 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

08-3 栃木県ドクターヘリが対応したCPA症例

▶ 藤井 公一 (済生会宇都宮病院 救急科)

08-4 伊豆半島における内因性疾患の活動状況とドクターヘリ有効活用

▶ 大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

第1日目 (10月28日 (金))

第4会場 (第1～3会議室)

9:00～9:50

一般口演9 / 現場活動：看護1

座長 小池 伸享 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)
大森 章代 (日本医科大学千葉北総病院 看護部 救急外来)

09-1 関西広域連合管内フライトナース交流会のあり方について

▶ 藤巻ゆかり (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

09-2 複数傷病者事案におけるフライトナースの活動

▶ 中 千秋 (富山県立中央病院 看護部)

09-3 救命救急センタースタッフが待機時のフライトナースに求める業務

▶ 井上 和也 (佐賀大学医学部附属病院)

09-4 現場滞在時間からみたフライトナースの役割

▶ 森田 須美 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

09-5 患者家族の対応でフライトナースに求められる役割

▶ 米田 勝一 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

9:50～10:40

一般口演10 / 現場活動：看護2

座長 濱 武 (公立豊岡病院組合立豊岡病院 但馬救命救急センター 3東病棟 (ICU))
高橋 誠一 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

010-1 ドクターヘリ活動時に発生した事象についての分析と課題

▶ 佐藤 千栄 (山梨県立中央病院 救命救急センター)

010-2 フライトナース記録の疼痛評価の現状と課題

▶ 阿式 正敏 (医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院)

010-3 同乗者対応の見直し—看護記録からの検討—

▶ 勝間田敏宏 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

010-4 フライトナースの外国人事例に対する看護の現状と対策の検討

▶ 佐々木ひとみ (旭川赤十字病院 救命救急センター)

010-5 重複事案の検証

▶ 泉谷 勇 (市立釧路総合病院)

第1日目 (10月28日(金))

第4会場 (第1～3会議室)

10:40～11:30

一般口演 11 / 現場活動：医療・救助

座長 町田 浩志 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急科・集中治療科)
藤田 康雄 (秋田赤十字病院 救命救急センター)

O11-1 現場で緊急気道確保を実施した症例についての検討

▶横川 京子 (山形県立救命救急センター 救急科)

O11-2 心肺停止状態で発見されたトラック運転手の1社会復帰例

▶説田 守道 (伊勢赤十字病院 救命救急センター)

O11-3 三重県防災航空隊による重症外傷事案の緊急救助の工夫と検討

▶原 文祐 (三重県ドクターヘリ)

O11-4 当院の病院前診療における多数傷病者対応コンセンサス

▶石上 耕司 (国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター)

O11-5 ドクターヘリ現場出動における現場直近と医師派遣の背景因子

▶遠藤 裕 (新潟大学医歯学総合病院 高度救命救急センター)

12:15～13:15

ランチョンセミナー 3

共催：日本光電北関東株式会社

座長 中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)

LS-3 ヘリコプターによる救急患者の搬送—中都市における有用性について—

▶上田 守三 (富士中央ケアセンター)

15:30～16:10

一般口演 12 / 疾患：外因性

座長 小林 誠人 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)
喜多村泰輔 (高知医療センター 救命救急センター)

O12-1 3県ドクターヘリと防災ヘリの連携外国人旅行者の多数傷病者事案

▶重光 修 (大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

O12-2 ドクターヘリ基地病院と連携して救命しえた出血性ショックの1例

▶奥村 澄枝 (徳島県立三好病院)

O12-3 山梨ドクターヘリは一酸化炭素中毒の治療を変えたか？

▶岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 救命救急センター)

O12-4 血液搬送装置を用いた現場初期治療戦略への利用可能性

▶笠井あすか (厚生労働省 東京検疫所 検疫衛生課)

16:10～16:50

一般口演 13 / システム・データ管理 1

座長 住田 臣造 (旭川赤十字病院 救命救急センター)
矢野 賢一 (総合病院 聖隷三方原病院 救命救急センター)

013-1 ドクターヘリ活動におけるポータブル動画転送システムの活用

▶ 寺島 嗣明 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

013-2 UAV による熊本地震被災地支援活動

▶ 島谷 竜俊 (広島大学大学院 救急集中治療医学)

013-3 ライブ映像転送システム導入の効果と今後の展望

▶ 川島 如仙 (市立釧路総合病院 麻酔科救急科)

013-4 Drヘリ現場活動へのヘッドマウントディスプレイ導入は有用か?

▶ 反町光太朗 (福島県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)

16:50～17:30

一般口演 14 / システム・データ管理 2

座長 横田 英己 (朝日航洋株式会社 航空事業本部 営業統括部)
中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急科・集中治療科)

014-1 FOSTER-NAV の機能紹介とテスト運用経過

▶ 久保田陽一 (朝日航洋株式会社 東日本航空支社 運航部 EMSグループ)

014-2 災害救援航空機用運航管理システムの研究開発 (WEB版地上局)

▶ 船坂 直哉 (ナビコムアビエーション株式会社)

014-3 重症呼吸不全に対する ECMO 治療の最適化を目指したヘリの活用

▶ 鈴木 慶 (広島大学大学院 救急集中治療医学)

014-4 愛知県ドクターヘリコプター e-ラーニングシステムの立ち上げ

▶ 三木 靖雄 (藤枝市立総合病院 救急科)

第2日目 (10月29日 (土))

第1会場 (大ホール)

9:00 ~ 11:00

／ シンポジウムⅡ／熊本地震における災害医療と航空医療の連携

座長 山下 典雄 (久留米大学医学部救急医学講座)
早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

SY2-1 熊本地震対応に係る消防・防災ヘリの活動について

▶ 藤山 修一 (熊本県防災消防航空隊)

SY2-2 熊本地震と自衛隊の活動

▶ 松下芳太郎 (陸上自衛隊衛生学校)

SY2-3 海上保安庁における救助・救急体制

▶ 松尾 秀昭 (海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官)

SY2-4 警察航空の概要

▶ 小森 武彦 (警察庁生活安全局地域課 課長補佐)

SY2-5 熊本地震におけるドクターヘリ運行管理室の連絡調整作業について

▶ 山家 純一 (熊本赤十字病院 救急科)

SY2-6 平成28年熊本地震における超急性期空路調整と九州の課題

▶ 佐藤 友子 (佐賀県医療センター好生館 救命救急センター 救急科)

SY2-7 平成28年熊本地震におけるドクターヘリ活動の実績と今後の課題

▶ 町田 浩志 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

SY2-8 災害時のドクターヘリの運用方法確立に向けて

▶ 早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

コメント ▶ 篠田 伸夫 (認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net))

第2日目 (10月29日(土))

第1会場 (大ホール)

11:00～13:00

／ パネルディスカッションⅢ／ ITからドローンまで～最新テクノロジーと航空医療～

座長 小林 啓二 (宇宙航空研究開発機構 航空技術部門)
小倉 真治 (岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学)

PD3-1 ドローンを活用したコミュニケーション

▶船津 宏樹 (株式会社ブイキュープロボティクス ジャパン)

PD3-2 固定翼型小型無人機を活用した上空からの映像伝送と災害時通信確保

▶三浦 龍 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター)

PD3-3 準天頂衛星システムの概要と航空医療分野への適用可能性について

▶村井 善幸 (日本電気株式会社 準天頂衛星利用推進室)

PD3-4 離島・僻地における UAV 活用の展望

▶服部 淳一 (鹿児島県立大島病院 救命救急センター 救急科)

PD3-5 位置動態監視システムの導入と活用法の考察

▶八木 正晴 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院)

PD3-6 災害救援航空機用運航管理システムの研究開発 (ヘリ・災害情報)

▶小林 啓二 (宇宙航空研究開発機構 航空技術部門)

PD3-7 ドクターヘリ通信センターの統合に関する考察

▶渡邊 紀子 (中日本航空株式会社 運航管理室 EMS 課)

13:05～13:10

／ 閉会式

14:00～16:00

／ 市民講座／ 夢のかけはし

第2日目 (10月29日(土))

第2会場 (活動室1・2)

9:00~11:00

／ シンポジウムⅢ／ドクターヘリが深める地域連携

座長 今 明秀 (八戸市立市民病院 救命救急センター)
高山 隼人 (長崎大学病院地域医療支援センター)

- SY3-1** ドクターヘリの地域との関わり—転院搬送事例の分析から
▶山田 裕彦 (岩手医科大学 救急・災害医学講座 救急医学分野)
- SY3-2** 三重県ドクターヘリと地域連携—志摩地域緊急外来搬送の検討
▶藤井 幸治 (伊勢赤十字病院 救命救急センター)
- SY3-3** 広域運航圏の道北ドクヘリによる地域医療連携への取り組み
▶住田 臣造 (旭川赤十字病院救命救急センター 麻酔救急集中治療科)
- SY3-4** 秩父地域でのヘリ搬送の必要性と、ヘリポート併設病院の役割
▶守 麻理子 (秩父病院 外科)
- SY3-5** ドクターヘリ基地病院を中心に据えた地域救急医療への取り組み
▶小林 誠人 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)
- SY3-6** 富山県における地域に根ざしたドクターヘリの運用
▶大鋸 立邦 (富山県立中央病院 救命救急センター)
- SY3-7** 地域医療経験のある医師によるドクターヘリ出動と地域連携
▶濱舘 香葉 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

11:00~13:00

／ パネルディスカッションⅣ／ドクターヘリの治療戦略～現場処置の限界と適応～

座長 滝口 雅博 (公益財団法人青森県総合健診センター)
荻野 隆光 (川崎医科大学 救急医学)

- PD4-1** オリンピック開催場所とサイクルスポーツに関するドクターヘリの活用
▶大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)
- PD4-2** プレホスピタルでの重症頭部外傷に対するマンニトールの効果
▶本多ゆみえ (東海大学医学部救命救急医学)
- PD4-3** resuscitative field thoracotomy の限界を超えるには
▶浜上 知宏 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)
- PD4-4** ドクターヘリ搬送中に有効な CPR は可能か？
▶前山 博輝 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)
- PD4-5** 離島発症の急性期脳梗塞に対するヘリ搬送を用いた治療戦略と課題
▶日宇 宏之 (独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 救急科)
- PD4-6** 血栓回収と脳梗塞診療体制の再構築
▶中間 哲郎 (鹿児島市立病院)
- PD4-7** 心筋梗塞におけるドクターヘリ搬送の有用性
▶岩崎 安博 (和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)

第2日目 (10月29日(土))

第3会場 (会議室1・2)

9:00~9:50

一般口演 15 / MC・検証・他

座長 中川 儀英 (東海大学医学部 外科学系 救命救急医学)
今井 寛 (三重大学医学部附属病院 救命救急センター)

015-1 ドクターヘリの初動要請について

▶庵原 誠之 (浜松市消防局)

015-2 救急隊を対象とした現場活動円滑化のためのシミュレーション教育

▶穴井 聖二 (和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター ICU)

015-3 安全運航に対するドクターヘリ基地病院の取組について

▶辻 友篤 (東海大学医学部外科学系 救命救急医学)

015-4 岡山県ドクターヘリは医師接触までの時間を短縮する

▶高橋 治郎 (川崎医科大学 救急医学)

015-5 ヘリ業務に伴うフライトドクターの移動歩数の増加

▶矢野 徹宏 (福島県立医科大学附属病院 高度救急救命センター)

9:50~10:30

一般口演 16 / 消防・防災ヘリ

座長 遠藤 裕 (新潟大学医歯学総合病院 高度救命救急センター・集中治療部)
篠崎 正博 (徳洲会岸和田徳洲会病院 救命救急センター)

016-1 熊本県消防防災ヘリ現場救急活用に関する考察

▶金子 唯 (国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部)

016-2 DMAT と防災ヘリが連携した山岳救助事案

▶花宮 大輔 (竹田医師会病院 放射線科)

016-3 船舶内で発症した自然気胸事案に対し洋上救急対応を行った1例

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

016-4 聖隷三方原病院におけるドクターヘリを補完する手段

▶中谷 充 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

第2日目 (10月29日(土))

第3会場 (会議室1・2)

11:00 ~ 12:00

／ シンポジウム関連1 ／ 熊本地震における災害医療と航空医療の連携

座長 中川 隆 (愛知医科大学 災害医療研究センター)
笠岡 俊志 (熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部)

SYR1-1 熊本地震におけるドクターヘリ運用のコントロール

▶加藤 浩治 (学校法人ヒラタ学園航空事業本部)

SYR1-2 熊本地震における熊本県ドクターヘリの初動活動

▶田代 尊久 (熊本赤十字病院 救急科)

SYR1-3 熊本地震における徳島県ドクターヘリによる支援活動

▶三村 誠二 (徳島県立中央病院 救急科)

SYR1-4 熊本地震におけるドクターヘリ本部の立ち上げの記録

▶大塚 尚実 (熊本赤十字病院 麻酔科)

SYR1-5 熊本地震においてドクターヘリの運航調整を行い見えてきた課題

▶山本 瑞樹 (朝日航洋 東日本航空支社 運航部 運航管理グループ)

SYR1-6 熊本地震活動報告本震直後の熊本県ドクターヘリ現場活動の実際

▶橋本菜穂美 (熊本赤十字病院 救急1階病棟)

12:00 ~ 12:50

／ シンポジウム関連2 ／ ドクターヘリが深める地域連携

座長 小野 一之 (獨協医科大学 救急医学講座)
加藤 正哉 (和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座)

SYR2-1 緊急外来搬送には地域連携が不可欠である

▶奈良 理 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

SYR2-2 急性期脳卒中における地域連携の重要性

▶越後 整 (済生会滋賀県病院 救急集中治療科)

SYR2-3 道南ドクターヘリで搬送した道南地区初の小児痙攣重積患者の一例

▶若林 知宏 (市立函館病院 小児科)

SYR2-4 持続可能な事業と地域医療連携～ドクターヘリの費用対効果から～

▶土谷 飛鳥 (独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救急科)

SYR2-5 ドクターヘリ運用の官民連携～日本唯一のドクターヘリ補完ヘリ

▶富岡 譲二 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 救急科)

第2日目 (10月29日(土))

第4会場 (第1～3会議室)

9:00～10:00

一般口演 17 / 基地病院・受入病院

座長 和氣 晃司 (獨協医科大学 救命救急センター・集中治療室)
柳川 洋一 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

017-1 就航2年目を迎えた道南ドクターヘリの運航実績と課題

▶武山 佳洋 (市立函館病院 救命救急センター)

017-2 羽田空港の救急医療体制の現状と課題

▶吉原 克則 (東邦大学医療センター 大森病院 救急災害統括部)

017-3 大阪府ドクターヘリ活動における搬送先施設からの要望について

▶西岡 里織 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

017-4 当院におけるヘリ搬送患者の実態

▶上村 恵理 (神戸市立医療センター 中央市民病院 救命救急センター)

017-5 新潟県の離島におけるドクターヘリの運用状況について

▶本多 忠幸 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

017-6 島根県ドクターヘリ、5年の歩みと今後の課題

▶新納 教男 (島根県立中央病院 救命救急科)

10:00～10:50

一般口演 18 / 連携・固定翼・他

座長 浅井 康文 (雄心会 函館新都市病院 名誉院長 理事)
豊田 泉 (岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)

018-1 ゴルフ場関係者との連携を通じたスポーツ傷病者への対応

▶橋本 孝治 (岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)

018-2 北海道におけるフライトドクター確保の現状と課題

▶岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター (道央ドクターヘリ基地病院))

018-3 北海道道南圏における広域施設間搬送症例の検討

▶笹岡 悠太 (市立函館病院 救急科)

018-4 本邦への医療優先固定翼機の公的導入を目指して

▶小野寺英雄 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院)

018-5 高速ドクターヘリの実現に向けたJAXAの取り組み

▶青山 剛史 (国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構)

第2日目 (10月29日(土))

第4会場 (第1～3会議室)

10:50～11:50

一般口演 19 / 災害・DMAT 1

座長 吉原 秀明 (鹿児島市立病院 救命救急センター)
城田 智之 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター)

019-1 熊本地震における活動～フライトナースとしての課題～

▶近藤 千桂 (国立病院機構 長崎医療センター)

019-2 熊本地震における徳島県ドクターヘリの活動報告

▶村井江都子 (徳島県立中央病院 救命救急センター)

019-3 熊本地震における基地病院フライトナースの活動報告

▶吉中 香澄 (熊本赤十字病院 救命救急センター)

019-4 熊本地震へドクターヘリでの震災派遣を経験して

▶畑中 美紀 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

019-5 平成28年熊本地震における山口県ドクターヘリの活動報告

▶金田浩太郎 (山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター)

019-6 熊本地震におけるドクターヘリ新生児搬送 ～災害時調節の課題～

▶野口 航 (鹿児島市立病院 救急科)

11:50～12:50

一般口演 20 / 災害・DMAT 2

座長 松原 康博 (島根県立中央病院 救命救急科)
松島 久雄 (獨協医科大学越谷病院 救命救急センター)

020-1 民間医療ヘリは災害時のツールになり得る～熊本地震の経験から

▶富岡 譲二 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 救急科)

020-2 熊本地震における宮崎県ドクターヘリの効率的運用方法について

▶長嶺 育弘 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)

020-3 震災時の基地病院におけるドクターヘリ本部の運用についての検討

▶矢野 賢一 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

020-4 「災害時ドクターヘリ運航関連情報共有ネットワーク」構築の提案

▶田崎 雄大 (朝日航洋 東日本航空支社 運航部 運航管理グループ)

020-5 被災地半径100km以内基地病院のドクターヘリ活動に関する検討

▶白水 春香 (国立病院機構 長崎医療センター 救命救急センター)

020-6 災害時における民間固定翼機の活用

▶兵藤 敬 (中日本航空株式会社運航管理室運航管理課)

第2日目 (10月29日(土))

第5会場 (多目的ホール)

9:00 ~ 12:00

シアターラーニング / 体験する新たな形の「人財」育成

座長 坂田久美子 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

講師 藤田 将範 (音楽座ミュージカル)